

監査方針

監事 竹田 敏一

監事 峯岸 広利

監事 飛田 剛一

愛する郷土の未来を強く信じ発足された上越青年会議所は、本年創立50周年を迎え新たな一步を踏み出します。半世紀の歴史は、先輩諸兄が三信条である「奉仕・修練・友情」を胸に刻み、時代の変化に能動的に対応しながら、志を高く持ち行動し地域のリーダーとなって牽引し続けた賜物です。この組織をさらに発展し継続させるためには、歴史を誇りに厳格なる監査のうえ公益法人としてより社会からの負託と信頼を得ることが必要です。

半世紀の歴史ある上越青年会議所の責任ある監事の職を務めるにあたり、会員の行う活動や運動が本来「あるべき方向」へ導くことを念頭に職務を全うします。一年間の活動を通じ伝統に裏打ちされた功績を受け継ぎ、時には厳しく、時には優しく活動の運営に活かせるサポートをしながら、地域社会に魅力ある事業展開が行われるよう助言します。公益社団法人としての「使命」を果たすため、本会議所の業務及び財産の監査はもとより、内部資料の徹底的な開示を求めます。それにより地域社会からの負託と信頼を得ることで、公益社団法人として組織を確立させます。また、例会など各種事業に出席することで我々が先輩諸兄より学んだ多くのことを特に若い会員へ伝えるとともに、理事会議に出席し理事の業務執行を監査します。そして、創立50周年の節目となる本年、幾多の大きな事業の経験をもとに、先輩諸兄や地域住民の理解を得られるような記念事業等への助言を行い、一会員としての責務を果たします。さらに、多くの卒業生を輩出する近年の動向を見据え予算組みや事業展開の助言を行い、事業監査を通じ公益法人の監査の職務を果たします。

明るく豊かな社会の創造のため、青年としての矜持を持ち、創始の想いを継承し地域を主導する運動を展開する会員に助言しともに活動することで歴史を伝承し、これからの上越青年会議所を確かなもとすることで、誇れる郷土「真に豊かなまち上越」を確立します。